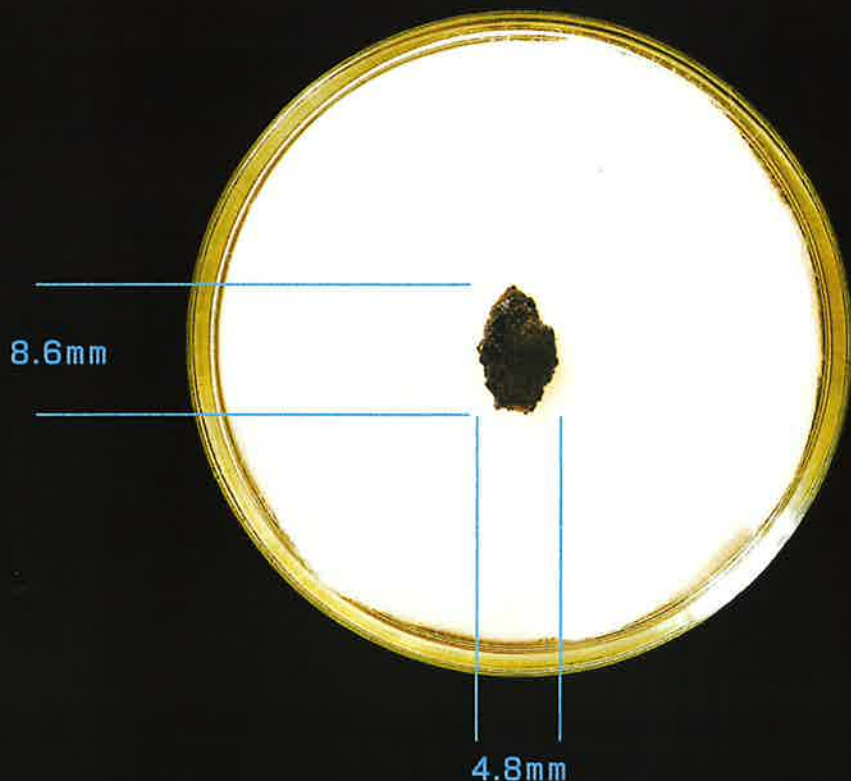


「レプリカ」にしかできない

「役目」がある



スポット展 **特別公開**

小惑星「リュウグウ」 サンプルレプリカ

【提供】JAXA 宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクト 【協力】JAXA 宇宙科学研究所と夢を創る会、銀河連邦サガミハラ共和国（相模原市）

期間：2022/6/12日 ~ 9/25日

【開館時間】9時30分～17時（入館は16時30分まで）

【休館日】月曜休館（祝日の場合は開館し、翌平日が休館）、臨時休館（7/12～13、9/6～8）

観覧料	期間	高校生以上	小・中学生
	7/10まで	510円（※）	200円
7/14以降	310円		

- 団体は20人以上で、お一人様、高校生以上200円・小中学生100円。
- 未就学児（乳幼児）は無料。
- 障がい者手帳お持ちの方とその介助の方1名は無料。
- 防府市文化振興財団会員は会員証提示で100円引き。但し、1日1回。他割引との併用なし。

※特別展「くるくるミュージアム」開催中のため。

防府市青少年科学館 ソラール



〒747-0809 山口県防府市寿町6番41号 TEL.0835-26-5050 <http://www.solar-hofu.sakura.ne.jp>

ご来館されるみなさまへ
新型コロナウイルス感染症対策への
ご協力をお願いします。



●乗降者が多い場合は入場制限にご協力ください。
●感染状況から、急遽、臨時休館やイベント等の
内容が変更になる可能性があります。
詳しくは、ソラールの見聞をご覧いただくか、
お問合せください。

■ レプリカにしかできない「役目」…

それは、研究者など一部の人にしか見ることでできない小惑星「リュウグウ」のサンプルをレプリカという姿で、みなさんに見ていただくこと。そして、未来へつなげること。

小惑星「リュウグウ」のサンプルは、地球外物質という大変希少かつ貴重なサンプルであることから、約4割が専門機関での分析や研究に使用され、残りの6割は将来のために厳重に保管されています。つまり、関係者以外サンプルを見ることはありません。

しかし、日本の宇宙開発や探査の重要性を理解していただくとともに、科学や技術を追求することの楽しみを実感していただく。さらに、青少年のみなさんには、科学や技術に夢と関心をもち、挑戦する気持ちを抱いていただきたいという思いから、JAXA 宇宙科学研究所はやぶさ2プロジェクトを始め地元自治体や民間団体の協力により、この度、限定200セットの精密なレプリカが作成されました。

■ 展示されるレプリカの概略

- ①小惑星探査機「はやぶさ2」が小惑星「リュウグウ」で採取したサンプルの中で3番目に大きなものをレプリカとして製作（実物大2つと10倍サイズ1つ）
- ②レプリカの元になったデータは、「はやぶさ2」初期分析チームが放射光施設 SPring-8 の高分解能 CT 撮影装置によって計測したもの
- ③レプリカは、JAXA 宇宙科学研究所の先端工作技術グループによって3Dプリンターで製作されたもの

つまり、レプリカといえども、精密に計測・製作されたものなので、姿や形、サイズは実物と同じであることから資料的価値は高い。色も黒っぽい色で製作されている。



【写真1】レプリカの元となったサンプル
(©JAXA)

■ 小惑星探査機「はやぶさ2」の概要

小惑星探査機「はやぶさ2」は、2014年12月3日の打上げから2020年12月6日のカプセル帰還まで、約6年という長い年月をかけて、小惑星「リュウグウ」へ行き、サンプルを持ち帰った。総飛行距離は、約52億4千万km。

小惑星からのサンプル採取では、世界初の初代探査機「はやぶさ」に続き、世界で2番目。

現在、拡張ミッションとして、小惑星「1998KY26」へ向かって飛行中。2031年7月にランデブー予定。



【図1】小惑星探査機「はやぶさ2」
(©JAXA)

■ 小惑星「リュウグウ」の概要

1999年に発見され仮符号「1999JU3」、のちに正式に「Ryugu (リュウグウ)」と命名された。地球接近小惑星の一つ。炭素質 (C型) 小惑星で、有機物や含水鉱物を含んでいると考えられている。形状は、当初、電波による観測で球形と思われていたが、実際にはそろばんの玉のような形をしていることが分かった。

「はやぶさ2」によって撮影された写真は画像処理しているため白っぽく写っているが、実は太陽系で最も黒い天体の一つである。

自転周期は約7.6時間、公転周期は約1.3年、直径は約900m。



【写真2】小惑星「リュウグウ」

(画像クレジット: JAXA, 東京大, 高知大, 立教大, 名古屋大, 千葉工大, 明治大, 金沢大, 産総研)